2月8日 火曜日 7日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝(43)1163番
東京振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3001号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232號)
(中華民國郵政認爲第二類新聞・内政内頭証登報僑内台警字第0136号)

あすの暦 2月8日・火 旧1月16日
日出 6.36 日入 5.15 月出 6.41 月入 6.52
満潮 前 6.30 後 6.05 干潮 0.10 (大潮)

天気予報
今晩 北東の風次第に強く雪 南部は雪のち雨
明日 北西の風強く早朝は雨または雪が残るが、日中は晴時々曇

4版

ピネ元首相受諾す
佛後継内閣の首班
直ちに組閣に着手
だが楽観できぬ前途

ピネ元首相

【パリ六日発ロイター=共同】コティ仏大統領は六日夜、後継内閣の首班に独立共和派のアントワーヌ・ピネ元首相を指名、組閣を委嘱した、ピネ元首相は、コティ大統領と会見後記者団に『私は後継内閣組閣の要請を受諾した』と語った

【パリ六日発UP=共同】仏後継内閣の組閣を受諾したピネ元首相は六日『私は遅くも十日までに閣僚名簿を作成するつもりだ』と語った

【注】ピネ元首相は実業家出身、一九三六年から政界に入り戦後経済相、公共事業相ののち一九五二年三月首相となり、九ヵ月半に亙り政権を担当した、六十三歳

【パリ六日発ロイター=共同】仏後継内閣の組閣を委嘱されたピネ元首相は七日から組閣工作を開始する予定だが、議会の専門家筋は社会党、共産党から急進社会党、旧ドゴール派の一部を含む少くとも約二百七十名の議員がピネ氏の首班就任に反対票を投ずることは確実とみている、昨年十一月の憲法改正により国民議会の首班指名には従来の議員総数の絶対過半数から出席議員の過半数の賛成でよいことになったが、それにしてもピネ氏は二百七十名以上の支持票を集める必要があるので、前途には多大の困難がある

ピネ氏は六日『フランスは国防の増強と同盟の強化、北アフリカの改革および国民経済の拡充のため各党が団結できるような政府を必要としている』と語ったが、とくにピネ氏の経済政策に対しては組合側の反撃を招く危険があるとして、経営者団体はピネ氏就任にあまり乗り気ではなく、このことも同氏のチャンスを阻害する一因となっている

好敵手を語る ⑤

東京五区では民主党公認の鈴木仙八氏と無所属の石田一松氏が毎回ツバ競り合いを演じてきた、廿五年選挙では石田氏が凱歌を挙げたが、廿八年には落選の涙を呑むというふうである、鈴木氏がデパート社長のほか興行師であることも因縁話に輪が加わろうというものさてこの両氏、こんどの選挙をどんなふうに戦うかがみものである

"意味シン"な批評ぶり
腹に一物？の鈴木、石田両候補

宍戸左行

○…先ず鈴木氏宅へ―王子駅から二百米、角ごとにある『鈴木仙八事務所』の看板に沿って行けばいやでも着くシカケ、序盤戦にしては活気のある事務所だ、やゝあってセンセイ出現、片方眼帯の独眼竜である

『石田氏とは毎回猛烈な接戦でね、こんども激烈なものとなろうが、石田氏にはノンキ節という武器のほか"ノンキ放談"などの著書もあり、あれが強味ですなあ』

石田氏が無所属で出たのは、公認問題がこじれたからではないかと気を回してみたのに答えて鈴木氏

『改進党時代、彼は新党に期待を持っていなかったようだね、だからこんどもはじめから無所属で立つハラだったんでしょう…石田氏のノンキ節ナカナカうまいですなあ、頭はいいし、私にとってよき相手ですよ』

ここまでほめて、さてと開き直ってきた

『しかし、ノンキ節もいいが商売は商売、政治は政治と区切りをつけるべきじゃないか、と思うんだ、私は彼の政治性を買っているので彼のために惜しむナ、彼は政治に専念すべきですよ』

…ところでところでも開き直ろうとしたとき、もう出陣の時間となった、やおら立上った鈴木氏『ところでお宅の住居はどちらですか』ときた、抜目のないセンセイである

○…ワセダの森に近いノンキ節の石田一松氏邸を訪うと争って開散

それもその筈、石田氏は胃ケイレンでヤキモキしながら寝ている最中であった、代って夫人が応接にスピーカーの調整に涙ぐましいばかりの奮戦である

『ソウ、ぼくと鈴木氏とは好敵手、彼は赤羽、王子あたりが地盤で、ぼくは豊島一帯と浮動票相手だから地盤荒しなどやらず、いつもフエアプレーで戦っていますよ、その点鈴木氏はりっぱですよ』と語る石田氏の背中を夫人がさすって、先ずは円満な夫婦ぶり

『選挙のときはお互い何もいわないですよ、まして鈴木氏はむかし活弁をやったこともあると聞きましたから、ぼくと同業みたいなもんです、悪くいえる筈のものじゃありませんやね、その鈴木氏は今やデパートや王子付近の小屋の社長さん、なかなかのやり手ですね、しかしあのデパートをつくったときには、小売業者が大分反対したもんですよ』

電話で立候補届が済んだとの知らせが入ったが、まだ苦しそうだ、代った奥さんが、こんなふうに鈴木氏をほめ上げてくれた『鈴木さんは一部の人たちになかなか人気があるそうですね、なんでも王子の外れにある貧民窟みたいなところの人達をよく面倒みているそうです、だから鈴木さんを神様みたいにほめているそうよ』

終って玄関に送ってきた夫人は『早くよくなりませんことには』と腰を深く折って挨拶していた

大陳島撤退を開始？

【ワシントン六日発UP=共同】…の国府軍撤退が…

【台北七日発AP=共同】国府の艦艇は、撤退作戦…日早暁刻々大陳島に近…米第七艦隊の航空母艦…のため七日から戦闘…

きのう基隆港で大陳島への出発命令を待機する米軍艦 (AP=共同)

米艦七十隻集結
中共も空軍千機配置

【ワシントン六日発UP=共同】米海軍は国府軍の大陳島撤退を援助するため約七十隻の艦艇を台湾海峡に集結している、艦隊の基幹は航空母艦サラトガ、ヨークタウン、ワスプ、プリンストン、…いずれも七十五ないし…しているこれにミッ…百廿五機搭載)が六日…になっている、同艦隊…巡洋艦二隻、駆逐艦廿…艦六隻、掃海艇十五隻…隻、多数の上陸用小型…ている、空中援護には…機のほかこのほど沖縄…ンから台湾に移動した…ジェット戦闘機七十五…また国府軍は駆逐艦七…十六隻、多数の上陸用…ンクで撤退作戦を援護…空軍は約四百の戦闘機をもちその…に砲火を浴びせうる位置にある

…同】米官辺では七日始まる大陳島撤退作戦が同地域で事実上の停戦をもたらすことを期待しており、このような停戦は台湾全域に広がりうるものとしている

国防総省官辺は国府軍の大陳島撤退作戦が行われている間、共産側も非共産側も戦闘行為を自分の方から始めることはきわめてあり得

中共の妨害予想されず【ワシントン六日発ロイター=共】

周首相の回答 到着か 八週間も拒否

英連邦首相、台湾問題を協議

【ロンドン六日発ロイター=共同】チャーチル英首相は六日カナダ、濠、インド、ニュージーランド各国首相と台湾問題につき協議した

花模様の靴下

『人さまの前でスカートをまくるなんてパリ娘らしくない』などといっちゃいけませんそんな方は靴下にも流行のあるのを御存知ないのです、靴下に刺しゅうの花模様を画ったのが今年の流行とあって、モデル嬢がそのみちの先生がたから採點していただいているところなんです

【写真はキーストン特約】

財界春秋

このところ、社長、専務の"旅行中"が流行している。とくに、相手が政治家であるとか、その関係者と判ると、なにはともあれ秘書子は一応『不在』というらしい。余談だが、現に筆者も親しい会社筋から『政治家の三木サンですか、それとも…』と、交換手から問いただされた経験がある。三木武吉、三木武夫の古狸、若狸連も、お多聞に洩れないだろう。

目下社長は"旅行中"

さる四日夜、日本航空の東京―香港開通一番機で永野重雄(富士製鉄)小池厚之助(山一証券)新関八洲太郎(第一物産)の三氏が出かけたが、これを見送った連中『うまい時に逃げたナ。スマートな奴にはかなわないよ』と、口惜しそうだった。もっとも、虚名好きな彼らのことゝて、ケチなくせに『今日も朝から政治家が殺到してネ』と、自慢の話題にしたがる。五万円、十万円とコマギレ献金を渋る程度の輩が、話は五万円が五十万円となり、十万円が百万円となる。どちらが立候補しているか判らない。

例の経団連、日経連の音頭とりで出来た『日本経済再建懇談会』はいよいよ活動を開始したが、今日までのところ、余り振わない。三億五千万円を目標に自由、民主に各一億五千万円、残り五千万円を社会党右派という話だが、関係筋では『二億円もあれば上乗だ』と早くも諦観している。実利主義の関西財界の面々は『神仏に寄進しても名前がはり出され、なにかお利益がある筈だ、献金をプール計算するような機関は真平御免だ』

三鬼陽之助

◇相談日 第一、第三土曜(午後二時より) 秘密厳守

内外タイムス社 無料法律相談所

確保数量を突破

浅草の鬼 (74)
浜本浩
栗林正幸画

悪魔の指 (六)

…ァをはずし、スカート一枚で、エプロン・ステージへ繰り出してから、さて、
豆えー、豆えー、
かわいいお豆はいかがです
、、、、
歌にあわせて、そのスカートを捲り、肉色のツンパが煽情的に見える下腹部を、ヴァンプの要領で、行動さすあたりになると、舞台には馴れた梅子も、もう、むかむちゅうで、客席の顔など眼に入るものではなかった。

六、七分のステージを一時間にも感じ、楽屋に駆けあがると、鳥肌立った筈の総身が、びッしょりと冷汗に濡れていた。

『冬木さん、あなたの近所に銭湯がありましょう』

親切な三笠マリが、穏かな笑顔を向けた。

『ありますわよ。ガラス湯が』

六区の興行街から、国際通りを一筋距てた、合羽橋のガラス湯を、楽屋風呂代りに使う芸人も少くはなかった。

『ガラス湯は、いけません』

気の良いマリは、にッこりと糸切歯を見せた。

『あたしは、最初の頃、大森にいたもんですから、近所のお風呂屋…

…と月組の殆んど全員が登場して、踊ったり合唱したりする。前列には、各組のスターが並び、コーラスの踊子達が、背後に立って、上下左右の照明を華々しく浴び、同時に客席の電燈も、一斉にスイッチが入れられる。

『おやッ!』

梅子は、明るく照らされた客席に、ふと眼をとめた。上手寄りの、カブリツキから四、五列目に、外套の前をはだけて、野暮ぐさくマフラを覗かした廿七、八の男が、やゝ仰け反って舞台を眺めている。

ぼさぼさ髪で、出張った頬に、ニキビの跡が、薄黒く光っている。物欲しそうな団栗眼の突き出た口許の、げすッぽい男である。

―貫一だわ、たしかに貫一だわ―

梅子は、前列に立った歌手の背に、ぴたりとくッついて、じっと眼を据えた。

甲州の勝沼で、だらしのない母を姦し、そのうえ娘の肉体まで犯さんとした、担ぎ屋の貫一である。が、先方では梅子に気付かぬ様子で、舞台の下手に立ったアクロバットの踊子を、しげしげと見つめているのだ。

内外抄

大陳島からの撤退、国府と米国と中共それぞれの三つの気持、見つめる世界の眼。
◇
金門島防衛に協力するのかしないのか、なんにもいわぬ米国。いうのが怖くて。
◇
頻発する踏切りでの自動車事故は運転手の規則無視から。厳罰主義のブレーキをかけるに限る。
◇
きょうから富士山麓で米映画のロケ、本社へ報告『運休のテが利き宣伝の方は満点なり』
◇
学生らの純な人類愛が実を結んで青ヶ島へ食糧を積んだ救援機飛ぶ。近頃の明朗篇。

柳壇
吉田柿司 選

公明の二字に代議士突き當り　川崎 小宮せいじ
身の上を聞かせてチップの稼ぎ高　文京 木村いつ秋
姉の留守義兄が怖い看病疲れ　野田 川鍋 一酔
手洗いに行くわけがある三次会　埼玉 高野 光
履歴書は要らぬが譲り奪われる　千代田 南 渡波
どうやって違反をやろう総選挙　千葉 松崎 光水
【賞】ネックレスつけて社員を近寄せず　船橋 稲村 三久

古語・新語
粋人辞典
杉原残華

私は聴かなかったのだが、つい先頃のことNHKの『話の泉』か何かで、これから申上げる言葉の名づけ親は誰でしょうかという問題が出たそうだ。そしてその中で『私小説』というのと、『映画』の名づけ親とが判らぬままに鐘になったということなのだが、久米正雄先生がいい始めたという『私小説』の方はともかくとして『映画』の方は山本嘉次郎だろうとか、徳川夢声だとか、いろいろの人の名が出たらしいが、この名づけ親は本欄で御馴染深い本山荻舟先生なのである。

活動写真という言葉を映画という文字に置き替えたのは、本山先生が二六新報の記者時代だったというから明治四十四、五年の頃で、当時は小さい案内欄に、毎日替る文義太夫の外題が掲載され、所謂活動大写真の広告も毎日出るようになった。そのたびに活動大写真の五文字がどうも長たらしくて編集上厄介になって来た。

その頃普通写真のことを専門家連中はシャレたつもりで印画と呼んでいた。(今でも印画紙という語は残っている)その印画に対して、映して見せるんだから『映画』という語を考え出されたという事である。

然しこれはあくまでも編集上の都合からあみ出されたもので、先生自体はいまだにこの言葉は気に入らないらしい。というのは当時、別に幻燈と名づけるものがあって、これは御承知の通り硝子板に彩色の画を画いてそれを映していたので、感覚の点からいえば幻燈の方こそ『映画』なる新語にぴったりと当てはまりそうな気がしたというのが、その理由とするところであったとのことだ。

今日となっては幻燈の方も発展的に解消して、硝子板からフィルムに変って、スライドとも称しているし、活動写真の方は、大正初期からいつとはなしに『映画』と呼び馴らされてしまっているので、先賢の明と申上げてもよいとさえ思うのである。

本山先生は今でも、ご自分でつけた『映画』という名をさけて活動写真といっておられるようである。これについては又面白い話が一つある。

或る会合で、論たまたま映画のことに触れたとき、本山先生が『私は活動写真というものをあまり見ませんが…』云々と発言すると、そばに聴いていた、これも或る有名な御仁が『本山さんも古くなったなァ、今どき活動写真などというようじゃねえ。もう映画ですよ』と笑いながらやんわりときめつけたという。先生の気性からいえばそれは私がつけたんですよとも押し返しも出来ず、さぞかしむずがゆかった事であろうと思われたのだが、これなどはまさに話の奇遇というもので、ここでも世間さまはせまいから怖いということがいえそうな気がする。

町内の、七十五になる老人の家へ用事があってお邪魔をしているうちに、湯豆腐でまァ一杯という段になってから、その老人は家人に向って『オイちりれんげがないよ』といったし、お茶になるときには『オイ、きびしょを貸してくれ』ともいっていた。

『ちりれんげ』に『きびしょ』なつかしい言葉ですねえと私がしきりに感心していると、その老人はけげんな顔をこっちへ向けて『あんたはつまらねえことに感心してますね。可笑しいですかい』と開き直られたので、私はそれこそつまらないことをいってこの老人のくらしの要(かなめ)をこわしたくないのであわてて『いいえ』と打消したものだ。

急須とか土瓶で通っている現在の生活の中に、突然『きびしょ』なるものが飛び出したり、中華そばやでワンタンでも食べない限りお目にかかる機会が少なくなった『ちりれんげ』が出てくると、そのあとから出てくるお小皿を『おてしょ』といわないと悪いような気がするのは、明治末期生れの者だけが持つ感傷だろうか、などと思ったりしてみた。

東京株式仲値
□新株落 △配当落 (7日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		日本曹	69	三菱化	85	カボン	59
東海上	314	旭電化	80	旭化成	295	三井物	178
郵船	—	三菱造	77	山陽パ	95	第一物	107
新三菱	96	三菱重	68	日本パ	88	白木屋	260
日清紡	278	石川重	97	国策パ	95	高島屋	87
味の素	290	[illegible]工	150	東北パ	109	日活	90
三越	291	東洋ベ	126	大東紡	84	松竹	212
平和不	394	三井造	114	商船	59	東宝	1300
三井金	114	日立造	45	三井船	58	大映	178
三菱鉱	94	浦賀	49	飯野海	50	日清粉	154
日鉱	80	日平	34	西武	352	日麦酒	155
住友金	100	古河電	79	藤田興	224	朝麦酒	176
三菱鉱	50	東芝	73	東京ガ	85	キリン	200
古河鉱	84	三菱電	99	東電	450	宝酒造	87
同和鉱	110	日立製	79	日銀	—	野田醤	377
住友炭	68	小松製	72	東銀	89	日本粉	126
三井山	68	日本光	181	三井銀	—	昭和産	□82
北海炭	64	東京光	49	富士銀	87	東洋製	92
東邦亜	70	キヤノ	158	日証金	105	合同酒	92
日石	89	日軽金	188	大正海	108	三楽酒	77
帝石	71	東洋紡	140	住友海	128	台糖	193
昭和石	90	鐘紡	140	安田火	137	明糖	104
大協石	160	大日紡	87	千代田	90	日水産	77
東燃	132	日東紡	67	鋼管	69	[illegible]糖	150
三菱石	98	片倉	40	日製鋼	81	大阪糖	136
日東化	70	富士紡	107	八幡鉄	67	森永	270
日産化	72	呉羽紡	90	富士鉄	61	明菓	167
三井化	95	東邦レ	109	神戸鋼	70	王子紙	190
東合成	92	帝麻	68	日特鋼	149	十条紙	208
信越化	78	中織	55	日金鋼	58	本州紙	92
昭和電	108	帝人	127	日セメ	139	三菱紙	99
東高圧	108	東洋レ	160	小野田	85	北越紙	53
昭電工	72	三菱レ	124	磐城セ	274	三井不	856
		倉レ	79	横浜ゴ	206	三菱地	541
				旭硝子	142	三井倉	120
				富士写	177	渋沢倉	130
				小西六	113	東洋埠	223

市況
全般に確り

週明け市場は格別相場を刺激する材料はないが、前週来の地合好調を映して大証券中心の物色買が見られ仕手、雑株とも引続き堅調な場面を呈している、特定株は東海上、新重工などマバラの買物が見られ微落した日紙業が十円方引締り、雑株も無配ね一―三円方引締り、日紙業が大蔵省の上場廃止意向を伝えて三百廿円安の買気配となったほかは、石油株の一服に代つて低位金へン、一流紡績株など手遅れの優良株に買気が循環、この一角が五―十一円方上進するなど全般に確り

▽高い株=日立工十一円、東洋工十円、日鉄鋼九円、理研光八円、ステンレス七円、日毛、日金工六円、昭和鋼、大阪鋼、大和紡、呉羽紡、フエルト、日車輌、西武、東横五円
▽安い株=日紙業十円

コンドーム恐怖時代

[illegible]

弱まる"夫の精力"
いまや急激に流行病のきざし
不能、神経症まで出る

[illegible]

西島実氏

妻の側に原因?
冷たい場合に多い

[illegible]

…つまり愛情の少い…コンドームを嫌って…嫌悪感から、夫婦関係に…ムを使用させる無理解な妻、第四に常に妻の要求どおりになるマゾヒストの夫を持った妻である

ノイローゼ症状

怒りっぽくなる

[illegible]

異常犯罪物語 ―(3)―
夜の女達の苛酷な私刑

昭和廿三年はGHQの厳命で、夜の女の狩込みが最も盛んに行われた年だが、この頃は漸く彼女達の営業形態?が一応出来ていたので、関係各方面からの連絡で、巧みにその強襲を避けることが出来ることもあった。

七月三日の黄昏、どこからともなく今夜の狩込みを伝えられネリー(三)ジョリー(三)あけみ(三)由美(三)の四人は、ラク町の職場を捨てゝ、この四谷見附付近の、焼ビルの回りを目だたぬようにウロついていた。今夜はあけみに味方して仲間の香港マリーに制裁を加えてやるためであった。

マリーは昨年香港から引揚げて女給をしていたが、一週間程前からここの商売を始めた女で、事情に通ぜぬ為か、よく仲間の客をとったり、金を借りっ放しにしたりして、評判を悪くしていたが彼女達を一番怒らせたのは、あけみの情夫小林隣夫(三)と出来てしまったことだ。ほんとうはそれとは知らずに新物食いの小林の手にのったのだが、彼がもう大阪にズラかっていない今日では、そんなことは通用しない。どちらかというとあけみの方が小林に参っていただけに、マリーに対する嫉妬と憎悪は大したもので、折あらばと狙っていたのである。

『あいつは今日必らずこゝへ来るよ、来やがったら…』

仲間から逃げ回っていたマリーは、この場所を感ずかれていたとは知らず、ついに運命の私刑を受けにここへ来てしまった。

真蒼になったマリーも見つかった以上は逃げられないと観念して通りから引込んだ焼ビルの中に連れ込まれ、残虐な笞を受けた。

翌朝早く半死半生の無残な姿をバタヤに発見され、病院に収容されたマリーの私刑の跡の所見を、医師はこう伝えている。

頭髪はズタくにむしりとられ、顔には尿をかけられ、口には紙が押込まれてあり、全身至る処紫色に腫れ上っている。これは蹴ったり打ったり、処きらわずつねり上げたものである。苦しい呼吸の下からマリーの言葉を聞くと、あけみの憎悪に満ちた私刑は一番ヒドい、自分に淋病のあるのを知っていて、押えつけたまゝ目をネラって放尿したり、糞を無理やりに食わしたりした。それでも飽き足らず、用意していた安全剃刀で、一番重い仕置とされている恥部の毛を剃られてしまった。幸い目は淋菌による失明を免れたが、全治二ヵ月の重傷を負わされていたのである。

間もなくあけみら四人は捕われ、悪質の傷害罪として起訴された。(木村)

私の魂を返してお呉れ

美しいヘレンよ　お前のキッズで私に永遠の生命を与えておくれ　この女の唇はわしの魂を吸い出す　あゝ魂が逃げてゆく　さあヘレン私の魂を返しておく
れ＝マーロウ＝

【写真はキーストン特約】

凄い欧州の柔道熱
小田九段の土産ばなし

[illegible]

柔道による親善の旅を終えた、『やっぱり日本はいきしてヨーロッパ柔道界…うに語った

…者が激増している。

欧州では日本の柔道選手権ではみられないはげしい試合が行われ、腕の第一関節、胴絞めといった講道館柔道では危険で禁止している逆、絞めなども派手に行われ勇ましい限りであった

だから試合はおろか練習でも怪我人が続出するありさまで、試合中に怪我をした選手が七〇万フラン(邦価七〇〇万円相当)の損害賠償を訴える事件まで起る騒ぎもあり、試合後判定に不服で審判にかみつく選手もしばしばみられた

日本柔道界とは国情が違う理由もあろうが柔道だけで鍛えた日本柔道家には勝手が大分違う、将来柔道がスポーツとして国際競技となる日は近いが、この点日本の柔道家は一層の修練が必要だと思う

パリで柔道絞業を教える小田九段

多いインチキ
精神面は駄目

わたしはパリで全欧州の柔道家を集めて週に二回、柔道の講義をし『いま欧州で行われている怪我の多い柔道はかつての柔術であり、その弊をなくすために合法的修業として講道館柔道が生れたのだ』と講道館柔道の精神、実技を鼓吹指導してきた、しかし欧州柔道界はフランスにいっている川石七段が川石システムで育成しており、講道館とは別に有段免許を与えるなど、欧州の嘉納として君臨しているのが現状で、日本で四、五段の実力の者でも政治力なくしてはかの地での大成は難しいようだ

フランスに入国して柔道でメシを食うには、フランス柔道協会の了解を得なければ国外追放の憂目にあう始末のようだ、ところがその実、一級か二級の者が柔道プロフェッサーとして高級車を乗りまわしている

昨年夏にもインドシナの自称七段と称する男が講道館の技は二百だが、わしは三千も知っとる、と教授をはじめたが十八歳になる若者に絞め殺され、まわりの者も活を知らずたゞ手をこまねいていたというエピソードもある、とにかくマガイ者が大分いるようだ、最も遺憾に思うのは面白、おかしくただ金を稼げればいい式の指導者が多いことだ

渡欧中の柔道家の生活も思ったより楽でなく、今後の若い者の渡仏には確実なメドをつけてからでないと駄目のようだ

街頭などで男女がベターキッスして、それが金で換算されるフランスよりも、ツンとして冷たいイギリス女のいるロンドン、スペインの方が柔道の開拓性も多いと思う

腕次第の喫茶ルーム

田村町三丁目の金春湯横に"K"という喫茶店がある、喫茶ルーム・コーヒー五十円という看板が出ている以上喫茶店だろう、銀座、新宿にみられるような喫茶店の構えでなく場末のカフェーといった感じ、その感じがそのまま店内に持ちこまれて、昼といわず夜といわず、三人いる女給はへんな格好でボックスに横座りになっている、ヤリテ婆アみたいな婆さんがいて、ジロリと客のフトコロ具合と鼻の下を計算して飲みものの値段をつける、ビール二百五十円、酒百五十円、ハイボール百五十円、ミルク百円といった具合…婆さんに『彼女とキスしてもいいか?』と聞くと『そりゃ腕次第だよ』『そのさきは?』『そりゃ腕次第だよ』…なんでもかんでも腕次第だそうで、値段の高いのは口説き賃らしい、ただし、女は田舎出まるだしの練馬女性ばかり…

豆版

"アル女"のパートタイム

夜がつめたい心が寒い、と思わずクシャミのでそうな深夜の一時ごろ、場所もあろうに川っ風のぴゅーぴゅー吹く千住大橋の三ノ輪寄りのタモトに、さいきん毎晩のように廿五、六の洋装美人が人待ち顔で立っている、色白小肥りで目に少しケンがあるが申し分なくいただける女性―通りすがりの酔客を掴まえて交渉が成立するとピッタリ寄りそって歩きだし、関屋駅傍の某アパートへ誘いこむが、なんでも彼女は新橋の某アルサロに勤めており終電で南千住駅から下車するが、帰り路にパート・タイム?の本職と洒落こんでいる由、家庭的で情が深かったとは某経験者の話

ロハのイカレ純情娘

中央線東中野駅前の飲み屋街の"N"に通称ノブちゃんという、この界隈で評判の娘がいる、年は廿二歳だがまだ中学二、三年ぐらいにしか見えない可愛い娘で決して笑ったことがないという無愛想さだが、交渉次第ではタダで上下OK、しかし以前松沢病院にいたそうで、ときどき発作を起すとか―

モダン歳々記
美女助けの種痘

弘化四年一月八日宇和島藩主伊達侯の息女正姫はオランダ医者伊東玄朴の種痘を受けた、七日目に発熱し、三月一日には小さな痘痕と なり、完全に免疫性を得たそうだ 今こそ痘面をみないが、大正頃にはまだ珍しくなかった。明治の元勲に痘面は多く夏目漱石もそうだった。疱瘡に罹って顔を掻くと、その痕が凸凹の醜いものになる。美男はまだいゝが、女は悲惨だ。玄朴は和泉橋に西洋医学所を起し、甥池田洞雲と『牛痘種法篇』を訳したが、天保十二年備者大槻盤渓の幼児が疱瘡に罹り手後れで死んだ後、その長女と次女、つゞいて次男泰三、三男文彦等に種痘を施し見事に成功した。

ジェンナーが種痘法を発明して卅五年目だ。それで伊達侯も息女に種痘をさせる気になったのだろう。牛のおできの膿を植えると角が生えるといわれたが、天然痘と呼んで不可抗力だった痘面を撲滅したのだから種痘の普及は女性にとって有難いことだった。昔は腕にしたが、イヴニングなどで人目に腕を曝すようになったとかで、今は幼女の内股にして貰うシャレ者も多い。(鮭)

あすの運勢 =二月八日=　高島象山

▲一月生―僥倖的の夢を見て失敗を招来し易い慎重に稼業をまもれ
▲二月生―数日の苦労効を奏して實結し利達栄昌ある造作開業吉他
▲三月生―何事も實力以上に信用を増し利達栄昌あり結婚開業よし
▲四月生―運気不十分で不満不平起り気迷い多し他人より苦労起る
▲五月生―何事も努力して効あるも新規は後に悔あり現状維持よし
▲六月生―思想上の變化起るも従来の事を辛抱して繁昌する移轉吉
▲七月生―男は婦人の事で女子は夫で苦労ある内外共に温和にせよ
▲八月生―前日に續いて向上し順調に進展あり官公吏は引立ある也
▲九月生―万事積極的に活動し思う事叶うも無理は失敗を招くなり
▲十月生―交際外交上に不利で社交は失敗あり身内家内に心配起る
▲十一月生―何事も好運に恵み深き日柄で進取的に努力し開業よし
▲十二月生―素志を一貫して努力し他言に傾くことなく進み有利也

風流世界譚 ―(イタリア)―

ナポリの仲良し連中が、細君同伴でヴェスビアス火山地方の温泉へ旅行しました。お人好しのモリスの細君リタは、美貌でモチ肌で、その上チト浮気のタイプの女性なので、一行の花形的存在になっておりましたが晩餐がすむと早くも相手を見つけて散歩に出かけてしまいました。これに気づいたおせっかいのロンバルドはそのアトを尾行していきました。が、当の主人モリスは悠悠たるもので、ロビーで煙草をくゆらしながら夕刊をひろげております。『君ィ、大変だぜ!』とロンバルド『どうしたんだい。まァ落ちつけよ』『これが落着いていられるかい。君の細君が若い男と歩いていたんだぜ』『ふうん』と、モリスは平然たるものです。『暗いところで男はリタを抱きしめようとしたんだぜ』やっと興味の出てきた様子でモリスが、『それで』と膝を乗り出してきました『ところが若い男は失敗したよ』と、安心させるようにロンバルドがいいますと、モリス氏首をかしげて、『ハテ、そんなヘマをやる女房じゃないんだが、そりゃ人違いじゃないかね』

浪人街道 (61)
木村荘十　野口昂明画

陋巷の人 (三)

『待て、待ってくれ』

『気の毒だが、それが待てぬ。貴殿がいわねば、駕籠についている男に訊ねなければならぬ。と申して、駕籠の行く方向を知らせに行く貴殿を見逃すこともなるまい。つまり斬り捨てるより他に方法がないのだ』

啓之助は、急ぐといいながら、ゆっくりしたものである。

『俺は命令した首領はしらないのだ』

『では、今知らせるのは誰だ。何処にいるのだ』

男は恐怖で満足にものがいえなかった。

『待て、それは勘弁してくれ。俺も武士だ。約束は破れない…うむ。斬れ、斬ってくれ』

その男はどうやら死を覚悟したらしい。弱ったは啓之助である。ずんずん時が経っていくが、殺すのも可哀想だった。

『よし、いい度胸だ。約束を守るというのも気に入った…何か家族にいい残すことがあれば伝えてやろう』

構えがゆるんだ瞬間、相手はいきなり背中を見せて逃げ出した。

啓之助は、始めから、斬る気は少しもなかったのであるが、その見苦しさが怒りをよんだ。

『えいッ』

ぬきうちだった。

振り返りざまに、向うも抜きうちされるのを警戒して、左へ寄ったので、左の肩から右の胸にかけて斜に斬り下げたが、その男は、刀の柄に手もかけていなかった。あわれという気持は少しもなかった。

その時、啓之助の感じたのは、い寂しさが波のように寄せて来たらしい。啓之助は、そう答えて待っている相手に近づくと、奪って来た小刀を差し出して、

『連れは斬り捨てたぞ。これは奴の小刀だ』

といった。

流石に、はッと刀の柄に手をかけたが、啓之助は鞘のままの小刀で、したたかにその小手を打ちすえた。

『うッ』

骨が砕ける思いだったろう。右手がぶらりとさがるのを、素早く寄って腋の下に手を入れてかかえ込んだ。

『拙者が浅香啓之助だ。誰に頼まれてつけ回すのだ。逃げると連れのように斬り捨てるぞ。さ、歩きながら話せ』

手を離して左側に回ると、いわれたままに歩きながら答えた。

『衣食の、衣食のための、余儀なき仕事で御座る。許されい』

啓之助の胸には、何かやるせないりだけであった。

これでも武士かという、激しい憤手負の衣服で刀をぬぐった啓之助は、その男の帯びた小刀をぬきとると、一散に引返して駕籠の後を追った。

美代吉は打合せた通り、ゆっくりと駕籠屋を歩かせている。

その後から、これも、悠々と、見えがくれについていくのは、さっきの男の仲間に違いない。

彼は、啓之助の足音に、立ちどまって、後を振り返った。

『おい、油断するな』

啓之助は、逆にそんなことをいった。

『どうした』

四辺の暗さに、誰とも分らなか

東京地方　大雪が降ります　明朝までに10－15センチ

ラッセル車待機　都交通局非常体制

…

人夫三名死傷

…【八王子発】六日午後六時十分ごろ、中央線新宿発上諏訪行列車が…

八王子で飛込自殺　マダム殺しに似た男

浅川駅ホームに入ろうとしたところ、廿四、五歳労働者風の男が飛込み自殺した、八王子署で検視したところ、黒オーバーの裏に『堀井』のネームがあり、Yシャツに『杉山』とあった、持っていた紙切れに港区麻布六本木二の六杉山富士男とあり身許を照会している、同署では死体がさる三日未明起きた八王子市のマダム殺しの容疑者と似ているところから捜査本部の係官も現場に急行、調査に当っている

同業者に暴行、恐喝　スケートあっせん屋　雪に座らせ棒で殴る

戸塚署では七日朝までに新宿区西大久保一の四五六貸スケート業近野信之(三五)、世田谷区上馬町三の三九無職石坂忠代(三〇)、新宿区歌舞伎町七五三店員山本隆男(三三)ら少年二名を交える計七名を恐喝容疑で検挙した、調べでは主犯の近野は三年ほど前から榛名湖にスケート客をバスで斡旋する商売をしていたが、ことしから同商売を始めた新宿区戸塚町一の五八九旅行斡旋業伊藤儀夫さん(三三)の方が旅費が安く客を吸収してしまったのを根にもち、たまたまさる一月廿日午後伊藤さんと榛名湖で出会ったので石坂ら六名とともに伊藤さんを雪の上に座らせ丸太棒でなぐりつけ全治十日間の傷を負わせた上『客を取ったからきょうの儲け廿万円をよこせ』と脅しその場で現金八万円を奪ったもの

美人揃いの神田パリス

水田に転落、ご用　自動車強盗、車で逃げ失敗　田無

六日夜十一時卅分ごろ都下北多摩郡田無町二七四先で中野区栄町二の二七大和田自動車中野営業所運転手市川正次さん(三〇)は新宿駅から乗せた茶色オーバーを着た若い男に短刀で脅され現金五千円を奪われ、男は車を運転逃走した、急報により付近を通行中の警視庁パトロールカーが車を追跡、同郡神代町先の田圃の中に追いつめた、あわてた賊がハンドルを切りそこねて水田に飛込んだところを逮捕した、賊は同郡小金井町九三米屋店員井上光勇(三〇)で遊興費ほしさからと自供した

神田サロン松　NOチップ社交場

奇習スミつけ祭り

大分県南海部郡小野市村、木浦鉱山（すず鉱）部落には、昔から節分当日〝スミつけ祭り〟という珍妙な行事が伝わっている、これは同部落の村山神社の祭礼で、大根を半分にブッタ切りにし、その先にナベやカマのスミを一パイすりつけて持ち出し、お祭りに晴れ着姿で出ている娘さんはもちろん、老人も若者もヨウシャなく顔にスミをなすりつけると同様、このナベズミの襲撃をうける、しかしあれほどナベズミ大根が乱舞するにも拘わらず、スミをつける場所は顔に限られ、衣類は絶対に汚さない不文律が厳格に守られている、そしてナベズミでカオカタチの一変した珍妙な笑い顔が終日部落にハンランするのである【写真は若い娘さんが襲撃をうけ、かくもご覧の通りスミ黒々】

新東京マンガ風俗地図　マンホール ⑰

へ板子一板下は地獄…という歌の文句があるが『マンホール一枚下は？』とチンなる疑問にとりつかれていること半年余、たまたま好機の訪れを得て、早速探訪に乗り出してみた。

『都内の道路の下はアミの目のように下水道が這っていましてェ、その長さたるや東京と下関の間ぐらいの距離になりますかナ。マンホールの下には一日に丸ビルの大きさのバケツで三杯汲み出す程の汚水や水洗便所の汚物が流れ流れて海に注ぐんです。だからすぐ泥がたまる、ゴミがつかえるといったわけで、ちょっと注意を怠ると東京はいわば糞（ふん）づまりになるんですよ』と都衛生局の係官氏。

なるほどねェ。僕らのたれ流しもそんなになるもんですかいと感心して、この偉大な都会という名の怪物の下半身のアナ掃除に余念のないオッさんを探しに街へぶらっと飛出す。漸く、上野広小路の、とあるマンホールから顔を出してシャバの空気を吸い込んでいる下水清掃のオッサンを捕えると『共産党の幹部じゃねェがよ、わしらァ年中地下にもぐるのが商売でよ。地下は静かな別天地の世界だがカァチャンの寝床にもぐるてなことほど楽しい場所でもねェやな』

ところが、このアナの中にルンペンの若夫婦が住込んでいるのを見付けた時は、さすがのオッサンたちも〝ビックラコイタ〟そうナ、早いとこ発見したからよかったものの梅雨どきにでもなったら、いちころで土左衛門になって押流されてしまう、と危機一発のところでシャバへ引上げたそうだ。

『まだ若い女だったがよ。洞気で青白くフヤけてしまって大きな腹をしてやがった。亭主はシャバへエサさがしに出ていたところだった。聞いてみると、この女はボス（ルンペン仲間の）の色女だったのに、いい男が出来てよ。トドのつまりが手に手を取ってのカケオチに地下水道をえらんだわけだ』

臭い恋－とはこのことだが、えらいとこへ目をつけたもんだ。これなら誰からも発見されないし、誰にも気がねなく夜でも昼でもアナの中の生活を楽しんでいられるというもんだ。

『あの女のフヤけ具合は洞気のせいばかりじゃねえね。房事過多のムクミもあるだろう。恋は盲目というが命知らずのことをやるじゃねェか』『日陰の花は、それからどうした？』『またボスのとこへ帰ったようだな。というのはその色男がマンホー泥でケイサツヘルアゲられたんだ』『マン泥かい。話にオチがついてるじゃないか』『落ちないようにしてくれや、そこのマンホールはクチをあけてるから』

オットトット、筆者も危うくアナへ落ちるところであった。

別天地、樂しいねぐら　駈落ち乞食夫婦の終着驛

えと文　森　比呂志

バス・ガイドのノド自慢審査会

全関東観光バスガール・コンクール大会は、七日午前十時から神田共立講堂で開かれた、今月中旬大阪で開かれる全国大会の関東地区予選で、各県代表五十五名が運転台とは勝手の違ったステージでNHKトンチ教室の青木センセイの司会、石黒敬七、服部良一、渡辺紳一郎、田村泰次郎の諸氏、戸塚文子、柴田早苗さんなど審査員を前に『貸切り』と『一般乗合』の二部に分れて自慢のノドを競演神奈川代表の白井ミツ子さん（駿豆鉄道）を皮切りに一人六分ずつお国なまりや郷土民謡を折込み二千の聴衆を居ながら関東一周の観光気分に浸らせた

【写真はコンテスト風景】

独眼灯

○…世田谷区玉川奥沢町三の一九八斎藤一(四七)という男、水越陶器販売店の運転手をしていたが競馬、競輪に凝って十文無し－

○…窮すれば通ずるではなく悪の考えを起し、去月廿一日五万円相当の店の商品をオート三輪に積んでドロンしたが、悪は栄えず、六日夜玉川署の手配で捕った

○…『横領したのじゃない、競馬でもうければ、直ぐ返すつもりでちょっと借りたまでだ』と斎藤は係官にいきまいたが、犯した罪はまげられず業務上横領容疑でブタ箱入りとなった

あすのスポーツ　△アイスホッケー　極東空軍対岩倉組、米第八軍対全関東（六時、後楽園アイス・パレス）△競馬　浦和（十時半）

今晩のラジオ　7日(月)

	【NHK第1】－590KC－	【NHK第2】－690KC－	【ラジオ東京】－950KC－	【日本文化】－1130KC－	【ニッポン放送】－1310KC－
6	00 ❶子供のシンブン❷二月ラジオ子供の歌 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間　鵜上三郎 30 やさしい科学『科学クイズ』朝比奈貞一ほか	10 劇『こんちは横丁』 25 バイバイ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇『すずらん太郎』 15 バンド・タイム 45 スポーツ・ニュース	00 劇『ポツポちゃん』 20 時代劇『銀蛇の窟』 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌　司会宮田アナウンサー	00 20世紀の音楽　ミヨー作曲提琴ソナタ第2番他 30 座談会『戦後派の魅力』朝倉摂　安部公房ほか	10 録音ニュース 20 『にごりえ』杉村春子 30 四つの明星　津村謙　奈良光枝　渡辺はま子	00 録音ニュース 10 歌・〆香　青葉笙子他 20 ものまねコンクール　司会市村俊幸	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた　内海突破 30 ❶漫才『湯島の白梅』❷落語『花色木綿』柳枝
8	00 お父さんはお人好し　アチャコ　浪花千栄子他 30 浪花節『星の降る夜に』天中軒雲月	05 教養特集❶録音『入学試験のある小学校』❷座談会『受験シーズン親心談義』戸川行男　古川原他	00 浪曲『名剣稲荷丸』梅中軒鶯童 30 タレント・スカウト　司会河井坊茶　宮崎博史	00 ❶漫才『所かわれば』❷落語『夢の女』枝太郎 30 劇『照る日曇る日』大仏次郎作　市川中車他	00 ハロー・ハロー・クイズ　司会テディ・中村他 30 大学勝抜き歌合戦　司会奥田アナ　相川英三
9	05 ニュース解説　村田 15 街録　ソヴイエトとの国交回復問題をめぐつて 40 声をそろえて　メイコ	00 名作劇場『シーザーとクレオパトラ』小沢栄　大塚道子　辻伊万里　永井智雄　稲葉義雄ほか	10 銭形平次捕物控　滝沢修　渡辺篤　南美江ほか 35 落語『一眼国』林家正蔵	00 愛のこだま　葦原邦子　芦野宏　メイコ　旗照夫他 30 民謡浪曲『下田の春雨』三門お染　東家みさ子他	00 声のスター・コンテスト　月丘千秋　三国連太郎 30 幸運の扉　ファミリーコンサート
10	15 のんきタクシー『熊の玩具』突破　一路ほか 40 風流歌草紙　志津栄他	00 ❶初級英語　梶木隆一❷上級国語　増渕恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇『新選組』永井智雄 30 提琴協奏曲（ホ短調）	00 英文和訳　岩田一男 30 解析（1）戸田清	00 劇『裸一貫』滝沢修他 15 落語『花見小僧』円蔵 35 スリラー劇『雪女』
11	20 ❶明日の話題❷随筆『水あさぎ』鈴木信太郎	00 春に備えて店内改装　川喜多煉七郎	10 科学の眼『太鼓の音』田口泖三郎◇お知らせ	00『素人と玄人』大宅壮一 30 ワルトシユタイン	15 スナツプ　選挙太平記 40 文楽時代　伊志井寛
あすの番組	7・45 朝の訪問　田中峰子 8・05 プラロー指揮の仮面舞踏会ハチャトリヤン曲 8・30 私の勝負　信夫山他 9・35 メロデイの花かご 9・45 青いノート　木崎豊 10・05 けさの話題松宮克也 10・15 私の伴侶　藤原あき 11・15 朗読『愛情について』 12・30 小唄横町丹下キヨ子	8・00 結核講座　岡治道 8・30 ショパンの練習曲集 9・30 会話の多い物語 10・30 このごろの出来ごと 10・45 世界名曲めぐり 11・30 生活の科学合成繊維 12・30 食後の音楽 1・15 交響曲の時間 2・30 芝居の見方戸板康二 3・00 話題『昔のミス日本』	8・20 ラジオ・スケツチ 9・45 想い出を語る金語楼 10・10 吾輩はネコである 11・45 歌はん子　俊郎他 12・15 リズムのつどい 12・30 浪曲『春風左小刀』 1・30 婦人の生活と意見 2・05 キヤナリー姫奇譚 3・10 歌のキヤビネツト 4・05 邦楽の時間『園八節』	8・25 劇『ミナモトさん』 9・00 むかしの歌いまの歌 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 劇『東京の人』 12・00 うたの花詩集 12・15 浪曲『遠山桜』福太郎 1・25 世相あれこれ 2・30 箏曲『明治松竹梅』 4・00 探訪『灰色の群像』 4・30 交響曲『軍隊』	7・30 放送論壇　三宅晴輝 8・00 劇『おとこ大学』 9・00 劇『サザエさん』 9・45 歌とお話井口小夜子 10・00 きんぴら先生青春記 10・45 婦人手帳十円の牛乳 11・00 劇『胡椒息子』 11・45 歌謡物語井口夜詩編 12・00 モダンタイムス洋容 1・00 劇『釣堀の春』

テレビ

NHKテレビ

6・00 なかよしニュース
6・10 二月の誕生いわい
6・40 原子の世界
7・15 映画『どぶ』乙羽信子　宇野重吉　殿山泰司　鶴丸睦彦　本間文子他
9・10 ニュースの焦点

日本テレビ

6・00 力道山渡米壮行特別試合　力道山　遠藤幸吉　駿河海　豊登（力道山道場より）江本アナ
7・30 エノケンのアラビアンナイト　音羽美子ほか
8・00 テレビ寄席　小文治
8・40 邦舞・長唄『巽八景』藤間友子　藤間友二美

☆NHKテレビ☆
12・15 NHK週間ニュース
12・30 ボンゴのひびき
1・00 学校放送クイズ教室
1・20 暖かい部屋着『和服』

☆日本テレビ☆
12・15 ジヤズ合戦　森亨他
12・45 あかるい家庭　藤原幽竹　山野千枝子ほか
1・20 映画あんない

登山刀を発見

…

選挙風景ところ変れば

嫁入り馬まで利用

北国　ハバきかす雪自動車

…

花嫁馬にまで公明選挙の旗幟（宮崎県）

動物に汚職はありません（津）

拡声機をソリに雪自動車で出動（新潟県）

夏目七段に本社優勝楯　全国カルタ選手権大会

【浦和発】埼玉県カルタ協会主催第四回全国カルタ選手権大会は、六日午前十一時から浦和市公会堂で開かれた、参加者新名人真木一郎選手はじめ約七十名、熱戦六回の末吉野会の夏目延雄七段が優勝本社寄贈の優勝楯を獲得した、成績次の通り

△一等吉野会夏目延雄△二等東会丸山順三△三等白妙会真木真家

力道チーム勝つ　対新派野球戦

本社後援、日本ビール協賛の力道山チーム対新派チームの野球戦は七日朝九時から浅草隅田公園グラウンドで行われたが12－7で力道山チームが勝ち本社杯を贈られた

本紙愛読者ご優待

遊覧バスで日帰りの旅　正丸峠でジンギスカン鍋会

本社では西武バスの後援で、羊年に因み羊肉料理ジンギスカン鍋を賑う会を、緬羊飼育で知られる海抜六五〇米の正丸峠で秩父連峰を眼下に催します、都塵を忘れてのリクリエーションに奮ってご参加下さい

【参加会員】四〇〇名（一回・八〇名）

【参加会費】五〇〇円（一名）往復バス料金（中食）ジンギスカン鍋、休憩料一切を含む（但し主食ご持参のこと）

【旅行日】二月十三日・廿日・廿七日・三月六日・十三日の各日曜日（毎木曜日に締切）

【旅行コース】前八時半（西武新宿驛前廣場から西武バスにて出發）青梅街道を經て狭山湖（ユネスコ村見學）飯能－吾野－正丸峠着（ガーデンハウスにて手料理ジンギスカン鍋を囲んで中食、永楽養室提供、裕源泰の裕興酒、玫瑰露酒、五加皮酒、白乾兒の強精酒を希望者に無料接待）後三時半、正丸峠出發－後六時半新宿驛前着、解散

申込所・日本橋白木屋案内所、新宿・池袋西武電車案内所　本社事業部（電京橋(56)八六四六番）會費を添え申込下さい

主催　内外タイムス社
後援　西武電車・西武バス

続 情炎の千代田城 (21)

岩崎栄
寺本忠雄 画

裾風 (五)

奥の一間をしめ切って、木人とお静と、エノさん親方と、その女房のおかよと四人。

木人が黄八丈をスポリと脱いだ。下帯一つの赤裸々である。

『まァみごとだこと』

おかよがそッと、隆々としたその木人の右腕に触わってみて、

『まるで、いゝ男の関取だよ、この先生』

木人が、

『おい、エノさん』

『へえ』

『この死骸を裸に剥いでくれ』

『裸にしてどうするんで』

『おれが着るんだ、そいつの衣類をよ』

『気味がわるいだろうなァ』

『早くしろ、いさゝか寒い』

お静も、おかよも手伝い、三人で死体を剥ぎ、木人に着せつけ、覆面までチャンとしてやって、

『じゃア先生、おめえさんの着物をこのホトケに着せるんで？』

『いや、それは一ちょうらだ。惜しい。何か―お静坊―、こゝのうちのボロ着物をこいつに着せてやれ』

お静が押入から、八百定の古いひとえものを取り出して、死体に着せかけた。

エノ親方が、その間に畳をめくり、根太を剥がす。木人が、

『まてよ！　この陽気だ。そいつが変な匂いを発散させると困るなたいじな人質だ、裏の物置から、四斗樽と塩を持って来いよ』

お静とエノ親方が漬物樽と塩を笊に一ぱい持ち込んで来た。

『そうだ。こいつを塩漬にしてくれ』

三人がかりで、

『冷てえね』

『気びがわりィねえ』

などと、ともかくも塩で詰めて蓋で密封した。

『エノ的―』

『へえ』

『鍬を持って来て、床下に穴を掘れ』

『いやはや、まるで隠亡(オンボウ)だぜ』

穴を掘って、塩漬死体の樽を埋め、もと通りに根太を合わせて畳を敷くと、木人は死体の着ていた装束をすっかり身につけて、大小まで持って、顔も覆面して、

『ドッコイショ』

寝棺には入って仰向けに、両脚を踏みのばし、

『あゝ、これでおれも成仏だ。ナムアミダブ、ナムアミダブ』

『いやだねえ』

エノ親方の女房が眉をひそめる。お静は白い歯で笑っている。

エノ親方が、五寸釘と金槌で、

『じゃァ蓋を打ちやすぜ』

『まて！　末期の酒だ』

『はい』

お静が用意していた一升徳利と煮〆やなにかの重詰を、棺の枕もとに置いて、

『よござんすか！　酔ッぱらって小謡などうたい出さないでくださいよ』

『こゝろえたり。しかしおい、ちょッと一口飲ましてくれ、どうにも手もとが不自由でいけねえ』

大きな口を開けて待つのへ、お静が徳利を傾けてやる。

『一貫三百どうでもいゝ、妙法蓮華経』

エノ親方がお題目で、棺の蓋をトントン、カンカン釘付けにしてしまった。

ロケは花ざかり

セット撮影が営内教練なら、ロケーションは野外演習みたいなもんだと兵隊あがりの裏方さんがいっていたが、たしかにロケーションは強行軍のつらいことも多いだろうが案外楽しみも大きいというもの、まして〝軍人精神旺盛〟したのと違って自由で天衣無縫のカツドウヤ族の集団ともなれば、[illegible]

花

盛かりとなれば まずお話は日本の南端九州へ飛ぶ [illegible]

九州

煙草で島田と格闘？
〝ポーちゃん〟姐さんに惚れてポーッ

[illegible]

…ても松竹『君たら春樹れ（張切れ）ない』もっとはこれは宣伝氏の言葉だからアテにはならないが、ことほどさようにこの土地でロケ隊がもてるのは事実だ

『馬

賊芸者』のロケでもこれに近い騒動はいろいろあったようだが、この〝馬賊姐さん〟にまつわる最近の傑作が伝ってきている、この正月東映から東千代之介、星美智子、大泉滉など一行がこの土地へご挨拶に回った或る一夜〝馬賊姐さん〟達と一献くみかわすチャンスがあって、ここで大泉がその中の一人に惚れちゃったというのだ、彼は同席の千代之介や星美智子にわからぬように彼女にサイン、確かにその手応えもあって結局のところ二人の逢う瀬が楽しめたというのだが、あいにく彼女はその夜は日本髪、何しろこの土地の芸者衆は〝ミトコロ、三十八ヵ所〟の元結を締めた純昔風の高島田なんだそうで、いざオヤスミとなってもこのマゲが邪魔になって仕方がない、

◇◇◇◇◇◇◇

そこで大泉ポーちゃん意を決してこの日本髪に断固挑戦した、ところが元結を切る鋏がない、致し方なく煙草に火をつけパッと吸ってはプツン、パアーッと吹いてはプツンとやりはじめた、何しろミトコロ、三十八ヵ所パアーッ、プツンとやったのだから彼も気が長いが馬賊姐ちゃんも暢気なものだ、やっと全部切れてサンバラ髪になった時は大泉の口の中はカラカラ、彼女の方もグッタリで、それこそ『キッスするひまさえアリマセン』と彼のアダナ通り〝ポーッ〟としてご帰還におよんだというが、まったくロケーションは罪つくりの話で

『あげんこと、初めてバッテン、あほらしゅうて、ショーもなかー』と彼女グシャ、グシャになったサンバラ髪で眼を真赤に充血させ、しみじみと星美智子にこぼしていたそうだ、まったくアカサカ、ベッチャカ、イガイガドンと いうわけだ

(ふ)

写真㊤から佐田啓二、星美智子、東千代之介、大泉滉

映画やぶにらみ
幸福を配達する娘（大映）

▽…兄姉たちはもう夫々結婚していて、いまは末娘（若尾文子）と弟（井上大助）それに両親（菅井一郎、北林谷栄）の四人暮し、その父親が停年で退職することになったので、兄姉達が集って月々生活費の補助を割当てる、こういった平凡な一家を中心にしたホーム・ドラマ、源氏鶏太の原作を井手俊郎が脚色、演出は木村惠吾が当っている

▽…末娘が生活費の集金に回りながら兄姉達の家庭が夫々紹介されるあたりが良い、金持の女房に頭が上らず浮気をしている長兄、亭主を尻にしいている次姉、アパート住いで近く子供が出来る共稼ぎの次兄など、短かくさらっとしていながら、その雰囲気はなかなかうまく描きあげられている、こうしたところへ北海道の長女からの紹介で青年（菅原謙二）が下宿する、戦死した三男が戻って来たようだと母親は涙をこぼしたりする、結局この青年と末娘が結ばれるのだが、次第に青年に好意を持って行く娘心が大変健康的にとらえられていて清々しい感じだ、物語自体はこのように大した波乱のないものなのだが、ちっとも退屈しないでいられるのは、何かわれわれの身近にいくらでもころがっているような登場人物への親近感なのであろう（静）

【写真はその一場面、若尾文子】

山本嘉次郎監督の新東宝映画

東宝の山本嘉次郎監督が新東宝映画を初めて製作する、映画は『俺は男だ』（出演鶴田浩二、安西郷子、筑紫あけみ）で二月十日撮影開始する

浜辺で猛烈な濡れ場
聖林(ハリウッド)で奇妙な流行
海外スクリーンの話題

『地上より永遠に』でデボラ・カーとバート・ランカスターが繰りひろげる海浜のラヴ・シーンは大向うをあっと唸らせるに十分なしろものだったが、どういうものかこのところハリウッドはその海浜のラヴ・シーンがめったやたらと流行し出している、その一つはジョーン・クロフォードとジェフ・チャンドラーが主演する『海浜の女性』で、この作品では海岸でジェフがジョーンの着物を滅茶々々に引きやぶって接吻するという際どいところが撮影されたというし、マリリン・モンローは[illegible]

【写真はキーストン特約】

…られている同じくこのほど独立プロを設立すると声明して世界中に噂をふりまいたマリリン・モンロウも、その主演作『七年目の浮気』で素晴しい海辺の濡れ場をご披露して対抗、こうなると負けてはいられぬとあってか、マリリンの好敵手ジェーン・ラッセルも、RKOが陽春を期して公開するスーパー・スコープ天然色第一回作『海底の黄金』で一年ぶりに颯爽と登場、海上に海中に、ほとばしるような重量感にあふれた肢体を叩きつけて、肉体派女優の大姐御としての声価を世に問うといった案配まさに世の男性どもにとって有難きこの上もない流行というものだ

巨大なオッパイで？
…まんまとファルーク王捕えたミヌトーロ嬢

◉…『雀百まで…』のたとえの通り、どこへ行っても浮気の虫の止らぬ前エジプト国王ファルークはイタリアへ亡命しても、やれキャバレーのダンサーだ、女優だのと浮名を流してお盛んなものだが写真はその最も新しいところで、ナポリ娘のイルマ・カペーチェ・ミヌトーロなるハタチのお嬢さんで、ローマは目抜き通りの有名デザイナー、エミーリオ・シューベルトの店に現れたところ

◉…厚い白繻子の上に褐色レースを縫いつけたイヴニング、それに帽子のフチと腰のあたりに高価なエルミーヌ（貂の一種）のシッポを合計十一匹分あしらったこの衣裳、〆めて五十万リラ（約卅万円）というから大変なもの、まあ彼女の栗色の房々した髪、地中海のように碧く澄んだ眼の魅力もさることながら、案ずるにどうやらファルークを捕えたのは、片方で二㌔も入りそうな巨大なオッパイの引力だろう【写真AP特約】

二股かけての大活躍
百万ドルの脚・チェリーナ

リュドミラ・チェリーナといえば、モイラ・シァラーとともに日本でも有名なロシア生れのバレリーナ、シァラーの方が近々封切られる『彩られし幻想曲』を最後にスクリーンと舞台を引退して奥さん業に専念するのに反し、チェリーナの方はますます盛んに二股かけての活躍ぶりをみせている、目下ロンドン郊外のエルストリー撮影所でバレエ映画『おお、ロザリンダ』を※

※撮っているが、その中で写真のような東洋趣味の竹の柱で飾られた壁をバックにした入浴シーンが入ることになっている、これからいよいよクランクというので、裏方氏が石鹸の泡をしゃくっては手で彼女の百万ドルの脚になすりつけているところ、だれです、そんな裏方ならなってみたいというのは―

【写真はキーストン特約】

インド・ソ連映画で次第に接近

最近映画を通じてソ連とインドの接近が目立っているが、このほどモスクワで開催された作家大会でも、ロシア語にダビングされたインド映画ナヤ・サンサル作品『ガンガ』が特別に上映され、十六のソ連共和国と廿数ヵ国の諸外国の代表から非常な好評をはくし、その結果この作品はソ連各地で一斉に公開されることになった、一方ボンベイでもインド・ソ連合作映画製作の計画が着々と進められており、ネール首相の意向を確めたうえで、インドの詩聖タゴールの伝記映画を扱うことになる模様だという

去る四日付赤い靴広告中社会党候補とあるは社交党候補の誤りに付右訂正致します

おしゃべり横丁

文芸映画流行

選挙期間中『狭き門』『検察官』『罪と罰』を上映することになった

―選管委―

催し

シャンソン友の会発会パーティ　九日六時半、藏前丁薬会館、イヴェット・ジロー夫人出席

名選 都々逸

石井きんざ選

あたしにのこした形見の茶碗　割ってみたくもなる夜ふけ　亀戸・ふくせ

うぶなあたしをこんなに酔わせ　口説くあなたは罪な人　高崎・河野彦三郎

謎をかけてもとけないらしい　他人に気兼ねの寝話口　千葉・坂龍鱗

ここらが出る幕きわどいところ　亭主が出て来る美人局　長岡・柳家扇太郎

【篇】熱かんでいくら酔っても一人の旅へ　しみじみあいつの有難さ　諏訪・今井ちさと

◇ うたぐりたいほど気にする時間　お供が出来ない旅なのに　選者

笛

▽…今井正演出『ここに泉あり』も半年ぶりでようやく完成したが、独立プロ作品としては珍らしく宣伝にも力を入れ、あっちこっちで有料、無料試写会を開催して前評判もなかなか良好だ

▽…ところでこの作品に一番熱を入れているのが主演の岸恵子で試写があるたびにご挨拶に飛び回っている、これを気にしたのが松竹さんで『恵子ちゃん〝泉〟もいいけど〝亡命記〟で香港行を〝忘却とは忘れ去ることなり〟なんていやだぜ』といわれて彼女、小声で『アラ〝こゝにイヤミあり〟だったワ』【写真は岸恵子】